

2月27日（土曜日）

初日、最初の目的地は南相馬ソーラー・アグリパークです。復興を担う子供たちの成長を支援することを目的として設立された「再生可能エネルギー」体験施設で、太陽光パネルや水力発電のお話を聞き、実際に発電体験をしました。



昼食は原ノ町駅前に移動し、地元で人気の「鉄板餃子房 喜龍」で回鍋肉ランチをいただきました。人気店ということで、お昼時はとても混雑していたにもかかわらず、40人の団体を受け入れてくださり本当にありがとうございました。参加者の中には、初めて中華を食べた人もいて、味・量ともに大満足の楽しい昼食となりました。



午後は、参加者みんなが楽しみにしていた「相馬野馬追 甲冑着付け体験」です。野馬追通り銘醸館で、相馬野馬追の歴史を学び、震災後一時中止していた事、現在復活したお話を興味深く聞いていました。日本の歴史に興味を持っている参加者が多く、刀や鎧、侍などの響きにとっても興奮していました。



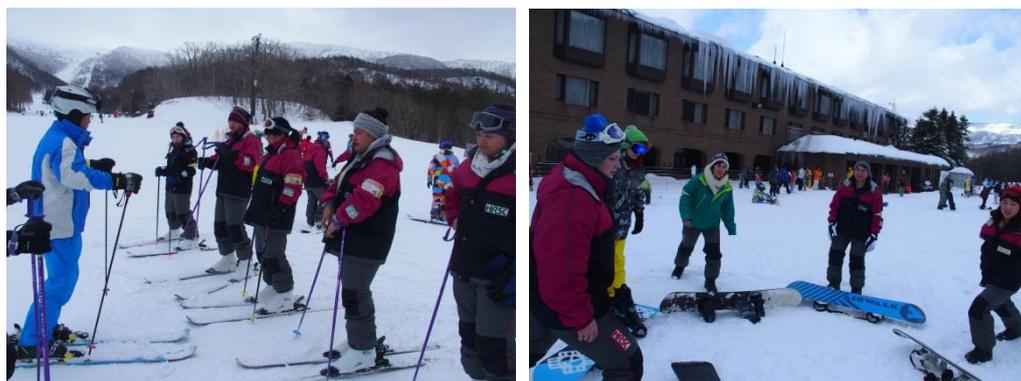
次の見学地は、相馬市松川浦にある「和田観光いちご園」です。津波被害で半分のハウスが流され、風評被害で客足も少なかった震災直後から、国の補助金でハウスを再建し、土を使わないクリーンな栽培方法に切り替え、人気を取り戻した今日までの取り組みを聞きました。参加者達は、日本のいちごの美味しさに驚き、30分の食べ放題中60個ものいちごを食べた人もいました。



初日、最後の見学地は「相馬市伝承鎮魂祈念館」です。写真右下の「東日本大震災の津波で犠牲になられた方の木製の名前版」に、なぜ年齢が記入されていないのか？行方不明のままだからではなく、残された人たちの胸の中に、色あせることなく、歳もとることなく『生き続けている』から年齢は記入しないと決めた話を施設の職員さんに伺いました。床には、震災前の松川浦、震災直後の地形、現在の復興状況がプリントされており、相双地域の復興状況について学びました。



2月ツアーの宿泊先は、大きく移動し猪苗代町にあるホテル・プルミエール箕輪です。2日目は朝から「スキー・スノーボード体験」を予定しています。ホテルの目の前が「箕輪スキー場」という最高の立地で、雪を見ながら露天風呂に入り、まさに福島を満喫できました。



2月28日（日曜日）

朝食後に集合し、スキーとスノーボードに分かれ、初心者にはインストラクターに教えてもらいながらスキー・スノーボードを体験しました。午前中はあっという間に時間が過ぎ、昼食は、ホテルに隣接するレストランで「箕輪プレート」（会津名物のカツ丼とビーフカレーのコラボ）をいただきました。午前中にリフトに乗れなかった参加者も、皆さんの指導のおかげで午後の終了前には全員リフトに乗ることができました。上手く滑れるようになった参加者も、やっとリフトに乗れた参加者も、とても良い思い出になりました。



大きな怪我もなく、冬の福島が苦手だった参加者も、「またスキーをしたい」と言っていました。参加者同士の絆も深まり、勤務地区を超えて友達ができたり、休日の集合を約束したり、本当に楽しい時間を過ごすことができました。

名残惜しいゲレンデを後にし、一行は福島市にあるJA農産物直売所「こころ 吾妻店」を見学しました。農家の方が、朝直接農産物を搬入し、その日の閉店時に売れ残ったものを回収するという販売方法のため、必ず新鮮な農産物を買うことができます。そのため、夕方に訪問すると「売り切れ」のものも多かったのですが、参加者は“買い占め”る勢いで買い物を楽しんでいました。



最後の見学地は「環境省 除染情報プラザ」です。英語の資料をいただき、説明も全て英語で行っていただいたので、あまり日本語が分からない参加者も「福島は今」を詳しく学ぶことができました。除染状況、放射線の影響、正確な数値、参加者からの質問は、時間を過ぎても尽きることなく、熱心さが伝わってきました。時間外になっても丁寧に回答していただき、大変勉強になりました。



「福島駅解散組」は、ここで終了となります。2月のツアーは1泊2日と短かったのですが、前回の24名を大きく更新した、過去最多数の35名に参加していただき、充実したスタディーツアーとなりました。次のツアーへの要望も、すでに参加者から多数寄せられています。次回も、なるべくJET参加者の要望を取り入れ、より福島を知って好きになってもらえるツアーを計画します。

JET参加者の皆さん、「福島」をもっと良く知るためにスタディーツアーには是非ご参加ください。また、どんどんホームページやSNSで情報発信をしてください。

最後になりましたが、ご協力いただきました見学先の皆さま、本当にありがとうございました。参加者にとって、スタディーツアーとして「福島を学ぶ」だけでなく、とても楽しく思い出に残る良い経験になったと思います。